

3 調査会審議経過

【国際問題に関する調査会】

(1) 活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、第133回国会の平成7年8月4日（金）に設置された。

今期第134回国会においては、平成7年10月19日（木）、今後3年間にわたる調査のテーマを「アジア太平洋地域の安定と日本の役割」とすることに理事会で協議選定し、その旨を同日の調査会に報告した。

これは、我が国と緊密な関係にある同地域の安定をより確実なものとするため、①アジア太平洋地域における安全保障の在り方、②国連・国際機関の在り方、③国際経済、地球環境、開発協力などの在り方等について検討し、日本の役割を明らかにしようとするものである。

今国会の会期中の調査は2回行われた。

まず、平成7年11月8日（水）に、調査テーマに関して、川島裕外務省総合外交政策局長から「アジア太平洋地域を中心とする最近の国際情勢」について、小池寛治防衛庁参事官から「アジア太平洋地域を中心とする最近の国際軍事情勢」についてそれぞれ説明を聴取した後、質疑を行った。

また、12月6日（水）に、「APEC大阪会議とアジア太平洋地域の安定」について原口幸市外務省経済局長から説明を聴取した後、渡辺昭夫君及び渡辺利夫君の両参考人から、それぞれ意見を聴取し、質疑を行った。

〔調査の概要〕

1. アジア太平洋地域を中心とする最近の国際情勢及び国際軍事情勢

調査会では、インド、ロシア、台湾及び中国の軍事情勢とその動向、対中援助問題、朝鮮半島問題、日米安保条約、日米安保再定義問題、アセアン地域フォーラムの動向、戦域ミサイル防衛の必要性、核兵器開発問題、新防衛計画大綱等について論議が行われた。

2. APEC大阪会議とアジア太平洋地域の安定

調査会では、APECと安全保障問題、APECの米国主導の自由化に対する評価、日本型ODAの評価、中国の経済・軍事情勢、人間の安全保障等援助の新たな在り方、防衛問題懇談会と新防衛計画大綱、アジア太平洋地域の経済発展における日本効果、韓国軍部政治の終焉と今後の動向、冷戦後における同盟関係の変容、台湾の動向、タイの将来展望等について論議が行われた。

(2) 調査会経過

○平成7年10月19日(木) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 調査項目の選定について会長から報告があった。

○平成7年11月8日(水) (第2回)

- 「アジア太平洋地域の安定と日本の役割」のうち、アジア太平洋地域を中心とする最近の国際情勢及びアジア太平洋地域を中心とする最近の国際軍事情勢について政府委員から説明を聴いた後、政府委員、外務省及び防衛庁当局に対し質疑を行った。

○平成7年12月6日(水) (第3回)

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 「アジア太平洋地域の安定と日本の役割」のうち、APEC大阪会議とアジア太平洋地域の安定について政府委員から説明を聴き、次の参考人から意見を聴いた後、両参考人及び政府委員に対し質疑を行った。

青山学院大学教授

渡辺 昭夫君

東京工業大学教授

渡辺 利夫君

○平成7年12月14日(木) (第4回)

- 国際問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。